

仕事を楽しむ

株 主 通 信

第33期 中間事業報告書 平成13年4月1日から平成13年9月30日まで



メック株式会社

証券コード：4971



株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社の第33期中間期（平成13年4月1日から平成13年9月30日まで）の
事業をご報告するにあたりまして、ひとことご挨拶を申し上げます。

皆様もご存知のとおり、当期に入りましてから各企業とも予想以上の景
気後退のため非常に厳しい経営環境が続いております。半導体関連など
は特に厳しく、なかなか回復の兆しが見えてまいりません。しかしながら、電子基板があらゆるエ
レクトロニクス機器に使用されていることから、電子基板業界の回復時期は比較的早いものと考え
ております。そのため当社では、新製品の開発・販売、中国での子会社設立など次のステップへの
布石を着実に打っております。

「仕事を楽しむ」の社訓のもと、株主の皆様のご期待にお応えできるよう社員一同全力をあげて努力
する所存でございますので、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
兼 最高経営責任者(CEO)

前田 耕作

営業の経過および成果

当中間期におけるわが国経済は、金融不安や経済構造改革の遅れにより本格的な回復軌道に戻り切れない環境下に、年初来のIT不況、更に米国を初めとする世界景気の減速により、企業収益の悪化が加速し、生産調整の影響で雇用不安が拡大するなど、一段と景気の後退感が強まる状況となりました。また、海外におきましても、米国経済の失速がアジア、ヨーロッパ経済にも波及し、全ての地域において景気の停滞傾向が鮮明化してまいりました。

エレクトロニクス業界は、情報通信機器やデジタル機器の需要が急激に悪化したことに加え、個人消費の冷え込みにより、エレクトロニクス製品市場全般に低迷状況が続いております。このような中、電子基板業界は情報通信機器に用いられる高密度電子基板の落ち込みが顕著に表れました。更に汎用電子基板は生産拠点の中国への流出が目立つようになりました。

このような環境のもと、当社グループは電子基板用薬品の新製品開発と海外を含めた販売拡大を重点に取り組みました。新製品開発につきましては、当中間期に3つの新製品の販売を開始し、特許を6件出願いたしました。また前期中に開発した黒化処理代替プロセスは、有力顧客の生産工場において評価試験を開始いたしました。なお、これらの新製品の業績への貢献は来期以降になると考えております。販売に関しましては、電子基板市場全体の落ち込みにより苦戦を強いられる結果となりました。また海外においては、米国・ヨーロッパ等で市場が落ち込み、中国を中心とするアジアが比較的好調に推移いたしました。その結果、当中間期の売上高は19億82百万円（前中間期比30.4%減）、営業利益は79百万円（前中間期比80.6%減）、経常利益は22百

万円（前中間期比95.7%減）、当期純利益は15百万円（前中間期比94.6%減）となりました。

対処すべき課題

新製品販売力と新製品開発力の更なる強化

当社では、当中間期において黒化処理代替プロセスの新製品販売を開始いたしました。今後は、この有力新製品の早期の普及を図るため、研究・営業・機械の各部門が一体となって、顧客企業に対する紹介活動に注力いたします。

また、現在建設中の第二研究棟が平成14年3月に完成予定であり、研究開発力の一層の強化が進みます。これにより、当社が強みを持つ先端基板分野での優位性を更に高めるとともに、汎用基板向けにコストと使いやすさに優れた製品の開発を重点目標とした研究開発に取り組む方針であります。

海外事業の強化

当中間期において、当社として第5番目の海外子会社となる中国における新会社設立を推進いたしました。世界市場の動向は、地域間の技術格差がなくなり、企業間競争も一層ダイナミックさを増しております。平成14年3月を目標に稼働準備中の当子会社は、当社の従来海外子会社と異なり、開業当初より製品生産と販売機能を兼ね備えております。これにより、既に海外拠点を設置済みの台湾、香港、ヨーロッパ（ベルギー）米国に続いて、現在もっとも急成長中の中国を含めた主要地域での事業展開を強化し、各市場のニーズに合った製品づくりと顧客サポートの徹底により、日本市場における当社の強みの世界展開を図る方針であります。

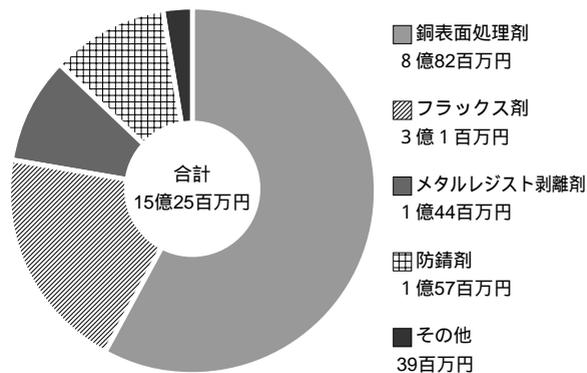


当中間期の品種別売上高については、電子基板用薬品15億25百万円（前中間期比26.7%減）、電子基板用機械2億9百万円（前中間期比54.5%減）、電子基板用諸資材1億42百万円（前中間期比14.3%減）、その他1億5百万円（前中間期比25.5%減）となりました。

電子基板用薬品の当中間期売上高は、銅表面処理剤8億82百万円（前中間期比25.5%減）、フラックス剤3億1百万円（前中間期比20.6%減）、メタルレジスト剥離剤1億44百万円（前中間期比39.0%減）、防錆剤1億57百万円（前中間期比30.1%減）となりました。

利益の状況につきましては、エレクトロニクス業界の低迷が続く中、電子基板市場全体の需要の落込みにより苦戦を強いられることとなりました。その結果、営業利益は前中間期比86%減の79百万円、経常利益は前中間期比95.7%減の22百万円、中間純利益は前中間期比94.6%減の15百万円となりました。

薬品品目別売上高



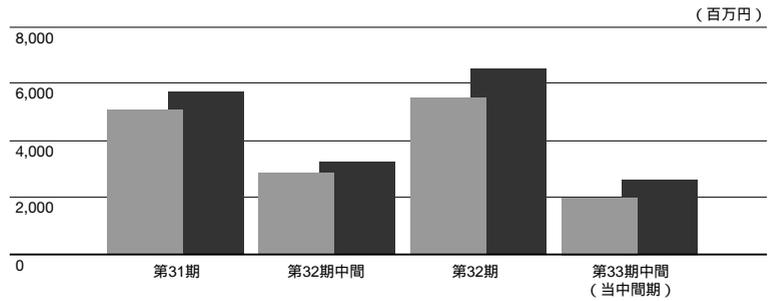
業績ハイライト

単体 連結

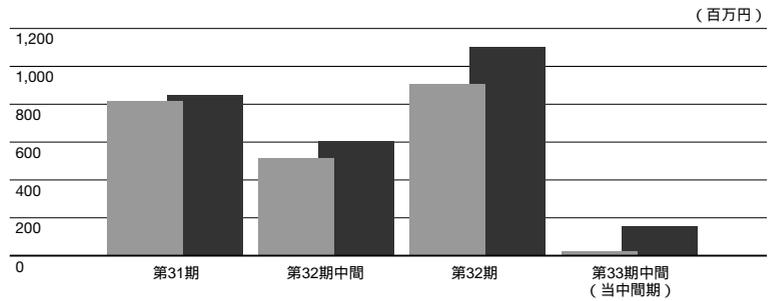
所在地セグメント別売上高

当中間期の連結売上高は、ヨーロッパ（ベルギー）2億21百万円、アジア（台湾・香港）6億4百万円、その他30百万円、日本17億42百万円の計26億円となりました。

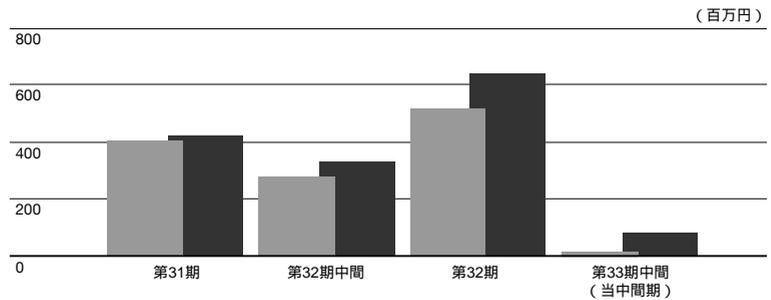
売上高



経常利益



中間純利益



中間貸借対照表（要約）

科 目	当中間期	前期
	平成13年9月30日現在	平成13年3月31日現在
資産の部	千円	千円
流動資産	3,474,203	4,279,573
現金及び預金	1,465,974	1,452,912
受取手形	630,410	1,049,100
売掛金	1,047,365	1,276,810
有価証券	100,037	272,694
たな卸資産	122,192	125,843
繰延税金資産	40,601	40,601
その他	67,907	67,462
貸倒引当金	285	5,852
固定資産	2,878,874	2,844,590
有形固定資産	1,832,101	1,840,473
無形固定資産	33,259	33,695
投資等	1,013,513	970,421
資産合計	6,353,078	7,124,163
負債の部		
流動負債	1,719,123	2,356,604
支払手形	413,045	528,534
買掛金	134,879	273,186
賞与引当金	102,500	99,600
その他	1,068,697	1,455,284
固定負債	645,480	614,770
社債	200,000	200,000
役員退職慰労引当金	445,480	414,770
負債合計	2,364,603	2,971,374
資本の部		
資本金	566,142	566,142
法定準備金	481,915	466,916
剰余金	2,945,488	3,090,863
評価差額金	5,071	28,867
資本合計	3,988,475	4,152,788
負債・資本合計	6,353,078	7,124,163

中間損益計算書（要約）

科 目	当中間期	前期
	平成13年4月1日から 平成13年9月30日まで	平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで
	千円	千円
売上高	1,982,262	5,475,792
売上原価	937,468	2,587,099
売上総利益	1,044,793	2,888,692
販売費及び一般管理費	965,639	1,974,684
営業利益	79,153	914,007
営業外収益	7,172	73,130
営業外費用	64,159	83,553
経常利益	22,166	903,584
特別利益	6,534	16,425
特別損失	2,589	51,854
税引前中間 当期 純利益	26,111	868,155
法人税、住民税及び事業税	11,029	380,000
法人税等調整額		27,850
中間（当期）純利益	15,081	516,005
前期繰越利益	329,878	272,052
中間（当期）未処分利益	344,960	788,058

中間連結貸借対照表（要約）

科 目	当中間連結会計期間	前連結会計年度
	平成13年9月30日現在	平成13年3月31日現在
資産の部	千円	千円
流動資産	4,119,024	4,852,348
現金及び預金	1,764,158	1,703,571
受取手形及び売掛金	1,884,581	2,523,157
有価証券	100,037	272,694
たな卸資産	196,490	223,335
繰延税金資産	55,387	56,705
その他	124,737	83,888
貸倒引当金	6,367	11,004
固定資産	2,808,568	2,814,127
有形固定資産	2,032,794	2,060,281
建物及び構築物	743,133	774,482
機械装置及び運搬具	316,040	363,536
工具器具及び備品		106,210
土地	793,291	793,556
建設仮勘定		22,495
無形固定資産	33,259	33,695
投資等	742,513	720,150
資産合計	6,927,592	7,666,476
負債の部		
流動負債	1,975,260	2,657,211
支払手形及び買掛金	607,692	899,941
短期借入金	953,404	840,797
未払法人税等	44,968	215,499
賞与引当金	102,500	99,600
その他	266,695	601,372
固定負債	713,190	689,748
社債	200,000	200,000
長期借入金	15,837	22,913
役員退職慰労引当金	445,480	414,770
その他	51,872	52,065
負債合計	2,688,451	3,346,960
少数株主持分	39,074	34,861
資本の部		
資本金	566,142	566,142
資本準備金	418,358	418,358
連結剰余金	3,236,546	3,298,705
その他有価証券評価差額金	5,071	28,867
為替換算調整勘定	15,908	27,419
資本合計	4,200,067	4,284,654
負債、少数株主持分及び資本合計	6,927,592	7,666,476

中間連結損益計算書（要約）

科 目	当中間連結会計期間	前連結会計年度
	平成13年4月1日から 平成13年9月30日まで	平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで
	千円	千円
売上高	2,600,331	6,483,277
売上原価	1,228,115	3,002,708
売上総利益	1,372,216	3,480,568
販売費及び一般管理費	1,191,613	2,377,929
営業利益	180,602	1,102,639
営業外収益		
受取利息・受取配当金	6,824	13,056
その他	15,433	87,925
計	22,257	100,982
営業外費用	47,431	107,285
経常利益	155,428	1,096,337
特別利益	6,481	15,723
特別損失	7,565	51,938
税金等調整前中間 当期 純利益	154,344	1,060,121
法人税、住民税及び事業税	67,622	426,243
法人税等調整額		20,081
少数株主利益	3,425	13,652
中間（当期）純利益	83,297	640,308

中間連結剰余金計算書

科 目	当中間連結会計期間	前連結会計年度
	平成13年4月1日から 平成13年9月30日まで	平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで
	千円	千円
連結剰余金期首残高		
連結剰余金期首残高	3,298,705	2,746,407
計	3,298,705	2,746,407
連結剰余金減少高		
配当金	100,456	45,228
役員賞与	45,000	42,781
計	145,456	88,010
中間（当期）純利益	83,297	640,308
連結剰余金中間 期末 残高	3,236,546	3,298,705

中間連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	当中間連結会計期間	前連結会計年度
	平成13年4月1日から 平成13年9月30日まで	平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで
	千円	千円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間 当期 純利益	154,344	1,060,121
減価償却費	106,799	236,115
貸倒引当金の増減 額	5,017	17,109
賞与引当金の増加額	2,900	5,600
役員退職慰労引当金の増加額	30,710	22,070
受取利息及び受取配当金	6,823	13,056
支払利息	9,350	23,316
投資有価証券評価損	9,705	
新株発行費		11,953
ゴルフ会員権評価損		44,773
売上債権の増 減額	649,405	373,141
たな卸資産の増 減額	32,633	50,556
仕入債務の増減 額	303,756	155,738
役員賞与の支払額	47,894	42,781
その他	59,490	52,812
小計	572,866	1,216,969
利息及び配当金の受取額	7,854	11,943
利息の支払額	9,277	23,838
損害賠償金の支払額	4,680	18,480
法人税等の支払額	224,064	462,161
営業活動によるキャッシュ・フロー	342,698	724,432
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入れによる支出	740,272	593,347
定期預金の払戻しによる収入	891,755	340,804
投資有価証券の取得による支出	7,854	41,200
投資有価証券の償還による収入		16,458
投資有価証券の売却による収入		23,469
有形固定資産の取得による支出	320,344	244,767
有形固定資産の売却による収入	1,802	1,874
保険積立金の積立による支出	77,325	79,345
その他	3,868	9,643
投資活動によるキャッシュ・フロー	248,371	566,410

科 目	当中間連結会計期間	前連結会計年度
	平成13年4月1日から 平成13年9月30日まで	平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで
	千円	千円
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	120,051	935,517
短期借入金の返済による支出	6,726	877,386
長期借入れによる収入		
長期借入金の返済による支出	64,250	216,559
社債償還による支出		100,000
株式の発行による収入		740,046
配当金の支払額	100,456	45,228
少数株主への配当金の支払額		1,104
その他	14,023	1,620
財務活動によるキャッシュ・フロー	65,405	436,905
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,539	10,895
現金及び現金同等物の増減 額	38,459	605,822
現金及び現金同等物の期首残高	1,434,510	828,688
現金及び現金同等物の中間期末 期末 残高	1,472,970	1,434,510

会社概要

会社概要 (平成13年9月30日現在)

商 号 メック株式会社
本 社 兵庫県尼崎市昭和通3丁目95番地
アマックスビル
会 社 設 立 1969年5月1日
資 本 金 566,142,400円
代 表 者 代表取締役社長 前田 耕作
事 業 内 容 電子基板製造用薬品、機械装置及び
各種資材の製造販売

役 員

代表取締役社長	前 田 耕 作
取締役副社長	川 邊 豊
専務取締役	腰 高 修
常務取締役	小 林 義 雄
常務取締役	内 野 登 一
常務取締役	前 田 和 夫
取 締 役	三 田 明
取 締 役	平 川 洋 一
取 締 役	溝 口 芳 朗
取 締 役	石 井 正 人
常勤監査役	坂 本 幸 雄
常勤監査役	藤 山 正 人
監 査 役	正 田 武

事業所

東京営業所
東京都立川市栄町6丁目1番1号 立飛ビル7号館7階
TEL.(042)538-1080(代) FAX.(042)538-1090
新潟営業所 / 長岡工場
新潟県長岡市西陵町221番地36
TEL.(0258)47-2490(代) FAX.(0258)47-2492
西宮工場
兵庫県西宮市鳴尾浜2丁目1番19号
TEL.(0798)46-8588(代) FAX.(0798)46-8688
研究所
兵庫県尼崎市東初島町1番地
TEL.(06)6401-8170(代) FAX.(06)6401-8172

海外子会社

MEC TAIWAN COMPANY LTD.
15 Nei-Hsi Street, Nei-Tsuoh Village
Lu-chu County Taoyuan Hsien, Taiwan 338 R.O.C.
TEL: 886-3-324-3455 FAX: 886-3-324-5228
MEC EUROPE NV.
Kaleweg 24-26, B-9030 Gent, Belgium
TEL: 32-9-216-7272 FAX: 32-9-216-7270
MEC (HONG KONG) LTD.
Uint 02, 6/F., Grandtech Centre, 8 On Ping
Street, Siu Lek Yuen, N. T., Hong Kong
TEL: 852-2690-2255 FAX: 852-2690-2262
MEC USA SPECIALTY PRODUCTS INC.
540 Weddell Drive, Suite 7
Sunnyvale, CA 94089 USA
TEL: 1-408-752-0390 FAX: 1-408-752-0392

株式状況

株式状況 (平成13年9月30日現在)

発行済株式の総数 5,022,848株

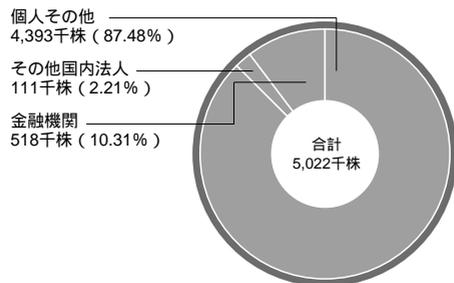
株主数 401名

大株主 (上位10名)

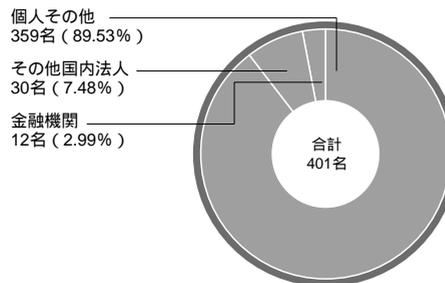
株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
前田耕作	736	14.67
川邊豊	662	13.19
小林義雄	644	12.83
小垣守	594	11.83
腰高修	431	8.58
メック従業員持株会	327	6.51
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	197	3.92
前田和夫	160	3.18
株式会社三井住友銀行	80	1.59
株式会社三和銀行	64	1.27

株式分布状況

< 持株数別株式分布の状況 >



< 所有者別の株主数 >



トピックス

第二研究棟建設開始

当社は世界的に激化する技術競争を視野に入れて、研究開発力を一層強化するために第二研究棟の建設を開始いたしました。完成は平成14年3月であります。

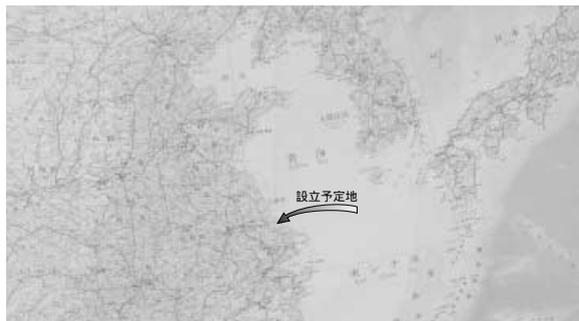


アドバイザー・ボードの設置

当社は経営の透明度を更に高め、社外の有識者の意見を経営に活かす「アドバイザー・ボード」を設置いたしました。ボードは3ヶ月に1回開催され、活発に意見交換が行なわれています。

メック中国の設立

当社は、グローバル市場での競争に対応するために、中国蘇州市に生産拠点を備えた子会社設立を進めております。
2002年3月より稼働する予定であります。



株主アンケート

株主の皆さまのご意見を拝聴させていただきたく、アンケートを実施させていただきます。お手数ではございますが、以下のアンケートにご記入の上、ご投函いただければ幸いに存じます。

- Q1 株主通信の中で、どの記事が良かったですか?(いくつでも)
営業の概況
トピックス
その他 ()
- Q2 弊社の株式を持たれた理由は?
業績が良い 株価が上がりそうだから
取引関係で取得 従業員・縁故者がいるから
その他 ()
- Q3 弊社についてどのようなイメージをお持ちですか?
(いくつでも)
研究開発型 グローバル
ベンチャー 高成長
安定 環境対応
その他 ()
- Q4 今後、弊社の経営に対して何を求めますか?
経営安定化 積極経営 営業エリアの拡大
関連分野への進出 株主還元の充実
その他 ()
- Q5 弊社についてどのような情報をお知りになりたいですか?
売上、利益計画 経営方針 事業戦略(内容)
その他 ()

ご協力ありがとうございました

料金受取人払

660-8790

尼崎郵便局
承認

531

差出有効期間
平成15年11月
30日まで
(切手不要)

兵庫県尼崎市昭通通3丁目95番地

アマックスビル

メック株式会社

社長室 行



お差し支え無ければお名前等をお知らせ下さい。

お名前							様
ご住所	〒 -						
電話	()	性別	1.男性 2.女性	年齢	満才	ご職業	

株主メモ

決算期 毎年3月31日
 定時株主総会 毎年6月
 1単元の株式数 1,000株
 配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当を行う場合は9月30日
 基準日 定時株主総会については3月31日、その他必要ある場合はあらかじめ公告する一定の日
 名義書換代理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号
 東洋信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 〒541-8502
 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
 東洋信託銀行株式会社
 大阪支店証券代行部
 電話 06(6229)3011
 株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の東洋信託銀行株式会社の電話及びインターネットでも24時間承っております。

電話(通話料無料) 0120-24-4479 (本店証券代行部)
 0120-68-4479 (大阪支店証券代行部)

インターネットホームページ
<http://www.toyotrustbank.co.jp/>

同取次所 東洋信託銀行株式会社 全国本支店
 公告掲載新聞 日本経済新聞
 上場証券取引所 大阪証券取引所ナスダック・ジャパン市場
 証券コード 4971

(お知らせ)
 平成14年1月15日をもって、名義書換代理人東洋信託銀行株式会社は、商号変更によりUFJ信託銀行株式会社(登記上は、ユーエフジェイ信託銀行株式会社)となります。


メック株式会社

本社

〒660-0881 兵庫県尼崎市昭通通3丁目95番地
 アマックスビル
 TEL.(06)6414-3451(代)
 FAX.(06)6414-3455

ホームページもご覧ください

<http://www.mec-co.com/>